

第7回 インフラメンテナンス大賞 募集開始



教育・文化・スポーツ施設における取組・工夫も対象です。
文教施設等の分野について、施設の長寿命化に関する
優れた取組を募集しています。

受賞すると、ベストプラクティスとして広く紹介されます。
周囲のインフラメンテナンスに対する理解の深化が期待されるとともに、関係する方々の
励みにもなり、職場に連帯感が生まれます。

2023年6月30日 締切

エントリーはWEBから

詳しくは…



第7回インフラメンテナンス大賞

検索



ドローンに搭載した4Kカメラ、赤外線カメラにより
外壁を撮影をしている様子

表彰対象

以下の各部門において、日本国内のインフラメン
テナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取
組や技術開発を行った者（個人及び施設管
理者・企業・団体等による活動グループ）

- ア) メンテナンス実施現場における工夫部門
- イ) メンテナンスを支える活動部門
- ウ) 技術開発部門

審査方法

有識者による選考委員会にて審査・選出

文部科学大臣賞受賞(第5回)

【技術開発部門】

大学校舎におけるドローンを活用した
非接触・非破壊点検手法の開発と実装

代表団体名 国立大学法人 金沢大学 施設部

昨年度の特別賞受賞

【メンテナンス実施現場における工夫部門】

(取組概要)

従来、施設ごと、業務ごとに委託していた保守点検や清掃、
修繕等を一括して委託することにより、市有施設の安全性
の向上と維持管理業務の効率化、施設の長寿命化を図る。

市有施設包括管理業務委託

応募者 明石市総務局財務室財務担当

担当

大臣官房文教施設企画・防災部 施設企画課施設マネジメント係
(電話) 03-5253-4111(代表)(内線4669)



文部科学省